



JR 連合 NEWS

JRに集う
すべての仲間の
JR連合への
総結集を!!

2022 年度

No. 47

2022年11月10日

日本鉄道労働組合連合会

「JR連合結成30周年記念シンポジウム」開催 新たな時代における鉄道の発展とJR産業の成長を考える

JR連合は10月6日の結成30周年記念行事（JR連合NEWS No.40参照）において、「新たな時代における鉄道の発展とJR産業の持続的成長にむけて」をテーマに、結成30周年記念シンポジウムを開催した。有識者による基調講演やパネルディスカッション、次なる30年を見据えた提言の提起を通じ、参加者はJR産業の発展に向け責任ある運動を推進する決意を固め合った。

第1部 基調講演(2題)、ビデオメッセージ

関西大学経済学部 宇都宮浄人教授より、「社会インフラとしての鉄道：新たな時代における役割と課題」と題し、日本と欧州の交通政策を比較した上で、持続可能で質の高い社会の実現に向け、官民が役割を分担し公共交通を維持すべきと問題提起。また、森雅志前富山市長は「交通政策と都市政策の融合」と題し、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりの意義について、富山市における自身の経験を踏まえた知見を披瀝した。

さらに、JR西労組出身の三日月大造滋賀県知事から結成30周年を祝したビデオメッセージが寄せられた。



宇都宮教授(左)と森前市長(右)

第2部 JR連合からの提起

JR連合から政所大祐事務局長が「次なる30年の強くしなやかなJR産業をつくる5提言」を提起。JRグループが持つ大きなポテンシャルを発揮し、誇りと自信を持って未来を切り拓き、あらゆる関係者とともに社会に貢献し続けるJR産業の創造を力強く訴えた。



政所事務局長

第3部 パネルディスカッション

基調講演の講師に加え、JR西日本の倉坂昇治代表取締役副社長と荻山市朗会長が登壇。経営側と労働者側がそれぞれの視点で国鉄改革以降のJRの歩みを振り返るとともに、労使が手を携えてJR産業の持続的成長を実現していくことの重要性を改めて確認した。

当日の様子や講演・提言内容等は機関誌「てるみに」およびJR連合ホームページに掲載する予定である。JR産業の持続的成長に向け、JR連合の考えを多くの方と共有していきたい。



倉坂副社長(左)と荻山会長(右)